

# News letter

Vol.14

2021年1月



今回はスキルアップを考える皆さまに  
看護ケア推進委員会メンバーが、お勤め学会やセミナーをご紹介します。  
今回掲載できたのはごく一部です。興味のある方はメンバーに声を掛けて  
さらなるお薦め情報を聞き出して下さい！

イイだなも！



「日本麻酔科学会 周術期セミナー」麻酔の基礎が学べるので  
「日本手術医学会」周術期の他職種の学会なので



特定看護師 浅田 淳

「環境感染学会学術集会」  
看護師だけでなく医療従事者全体の感染対策への取り組みが知れる

「感染管理ネットワーク学術集会」  
主に看護師の学会であるがその分身近な内容が多い



「外科感染症学会」  
周術期における感染対策が学べる

「SARAYA感染対策セミナー」  
内容が基礎的で参加費も安く、会場が大阪

感染対策室 里内正樹

「日本緩和医療学会」

がんやその他の治療困難な病気の全課程においてQOLの向上を目指す緩和医療が学べます。  
緩和学会の特徴として、参加者を癒やすための音楽やアートなども展示されて、参加して癒やされるのも楽しみです。



「日本死の臨床研究会」

死の臨床において患者や家族に対する真の援助の道を全人的立場より研究していくことを目的に1997年創設された歴史の長い研究会です。  
名前を見るとドキッとすることもありますが、有名な講師陣がおしげもなくお話しされる。アットホームな研究会です。

緩和ケア認定看護師 堀尾美紗

「日本癌治療学会」

各臓器ごとの、薬物療法、放射線療法、手術療法について、医師のみならず、薬剤師、看護師が集まる学会。  
がん治療をとりまく患者さんのあらゆる苦痛を和らげるため、患者さん自身にも参加していただいでみんなで話し合う場も設けられています。

「日本乳癌学会」

臓器横断的な学会とは異なり、単独の疾患（乳癌）だけを扱う学会。  
毎年、看護セミナーやメディカルスタッフ向けプログラムもあり、乳癌治療・看護について学ぶことができます。



がん化学療法看護認定看護師 一林三保子

「日本集中治療医学会（地方会含む）」

集中治療に関わる最新の治療戦略やガイドラインなどの検討がなされている。



「日本麻酔科学会」

日本手術看護学会や日本薬剤師会、日本臨床工学技士会と共に創設されている周術期管理チーム認定制度があり麻酔科学会主催の周術期管理セミナーや  
e-ラーニングがわかりやすい。周術期に関わる急性期医療に役立つ内容。

「日本循環器学会」

学会HPでは循環器に関わるガイドラインが数多く掲載されており情報収集が行える。また心不全療養指導士が認定制度としてスタートし心不全療養の基礎から  
学ぶことが出来るe-ラーニングなどがある。

「特定行為フォーラム」

実際に特定行為研修を終了した看護師による活動内容の報告を聴くことが出来る。

「日本呼吸療法医学会」

人工呼吸器、呼吸療法に役立つ内容。

特定看護師 黒松大悟

「日本集中治療医学会」

医療の学会なので医師や看護師だけでなく、薬剤師、栄養士、臨床工学技士、理学療法士など様々な職種の発表などがあり、  
重症患者に対して多職種がどのように関わっているか勉強になります。



「クリティカルケア看護学会」

看護の学会なので看護の視点で色々な発表があるため勉強になります。近年は「せん妄」「救急・集中ケアにおける終末期」がトピックスかと思います。  
HPで「COVID19重症患者看護実践ガイド」や「ICU経験の無い看護師のための重症患者管理クイックガイド」などが見られて勉強になります。

集中ケア認定看護師 遊免 大輔

「日本創傷・オストミー・失禁管理学会」

皮膚・排泄ケア領域すべてを網羅した学会 この学術集会が認定教育課程の同窓会的な感じで、同期に会えるのが楽しみ☆

「日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会」

ストーマや排便・排尿障害の治療やケアについて医療者の知識だけでなく、患者さんの生活や福祉の向上についても取り組まれている。  
学術集会では多くの企業が参加しており、ケア用品についても最新の情報が得られる。

「日本フットケア足病医学会」

足病の治療・ケアについて学べることができる。医師、看護師だけでなく、靴屋さんなど多職種が参加しており、救肢について考えさせられる学会。



皮膚・排泄ケア認定看護師/特定看護師 堀井さゆり